



農家さんとみなさんをつなぎ、地域の農業と食を守っています。

兵庫県農業協同組合（JA兵庫西）

本店／姫路市三左衛門堀西の町216 TEL.079-289-8600 <https://www.ja-hyogonishi.or.jp/>
創業／2001年（平成13年） 従業員数／1,216名（2025年4月現在）



もっと、くわしく
みてみよう！

しよくばけんがくかのう
職場見学可能です

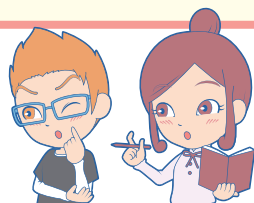
私たちの仕事

JAは農家さんを中心とした組合員が、農業や生活を助け合うための組織です。農家さんが安心して農業に取り組めるようにさまざまな事業を行い、地域社会に貢献するのがJAのお仕事です。全国各地に拠点があり、JA兵庫西は姫路市・たつの市を含む中播磨・西播磨地域を担当し、62支店・6営農生活センター・8直売所があります。



▲姫路市にある本店

？ どんなお仕事をしているのかな？



農業は、命や健康にとって大切な「食」の根幹です。その農業を営む農家さんを応援し、農産物をみなさんに届けて地域の「食」を支えています。農家さんたちの生活がより豊かになるお手伝いもします。

食を支える

農産物をつくる農家さんと、食べるみなさんをつなぐ役割をしています。

「旬彩蔵」
地元の農家さんが丹精込めた安全・安心・新鮮な地元産の農産物をたくさん販売しているお店です。姫路市に2店、たつの市に1店あります。

学校給食
みなさんが食べる給食のお米や野菜を、給食センターに届けています。地元産のものを食べる「地産地消」に取り組んでいます。

農を支える

農家さんに寄りそって、栽培や経営などさまざまな相談に乗ります。

農業支援
農産物の作り方や困りごとのアドバイスをするほか、肥料や農薬の販売もします。収穫された農産物を集めて流通業者に出荷もします。

「旬彩蔵」出荷者を増やす
農家さんの収入向上につなげるため、「旬彩蔵」に出荷する農家さんの増加に取り組んでいます。

暮らしを支える

農家さんや地域の人の暮らしの相談にも乗ります。

信用・共済事業
さまざまなお金や生活の相談に応じ、暮らしの安心を支えます。銀行のような役割をする「JAバンク」と、保険のように万に備える「JA共済」があります。



？ JA兵庫西では、どんな作物を育てているの？

JA兵庫西エリアは、気候がおだやか。お米やニンジン、ダイコンなどの野菜、イチゴやイチジクといった果物などいろいろな農産物が栽培され、和牛の生産も盛んです。

稲 稲

JA兵庫西エリアの畜産農家の牛ふんを肥料に使ったお米です。コシヒカリなど、3種類があります。



和牛

質の高い和牛が生産され、「姫路和牛」「プレミアム姫路和牛」「神戸ビーフ」などのブランド名で販売されます。



大豆

黒大豆や白大豆の栽培が盛んです。たつの市産の白大豆は、地元産醤油の原材料にも使われています。



地産の野菜やお肉を食べて農家さんを応援しよう！

地元産の農産物をみなさんが食べることで、農家さんはずっとお米や野菜やお肉をつくり続けられるんだよ。たくさん食べて応援してね！



さまざまな活動で地域に貢献しています！

食農教育



お米やサツマイモなどの植え付け・収穫をする農業体験を通して、「農業」と「食」の大切さを伝える活動に取り組んでいます。

ふれあい農産物フェア



毎年秋に、各地でふれあい農産物フェアを開いています。農産物の品評会や即売会、ステージイベントなどにぎわいます。

地域スポーツの応援



「JA兵庫西組合長杯学童軟式野球大会」を開催するほか、女子バスケットボールチーム「ASTRAEA」を応援しています。

はたらく人の声



営農経済部営農販売企画課
中村 純也さん

スーパーや加工会社と農産物を取引する（販売コーディネート）というお仕事をしています。また、栽培品種の提案や病害虫対策など、農家さんのサポートもします。良い農産物をつくってもらい、たくさん売って農家さんの収入を増やしたいです。



姫路中央支店
瀬川 絆さん

みなさまの大事なお金を預かったり、使い方の相談に乗ったりする窓口を担当しています。信頼関係を築けるように、お客さまの名前や顔を覚えて積極的に話しかけています。「ありがとう」と言われると、役に立てたと実感できてうれしいですね。